



HEKIZAN

西東京市立碧山小学校
校内研究だより
令和2年10月27日(火)

Education News

6年生「江戸幕府と政治の安定」

6年生は、社会科で「江戸幕府と政治の安定」の学習に取り組みました。

社会科「江戸幕府と政治の安定」では、これまで100年以上続いた戦国の世から、徳川家が全国を統一し、世の中をどのように安定させたかを学習します。戦国時代のような戦いのない江戸時代は、SDGsの16番「平和と公正をすべての人に」に当てはまります。戦いを起こさないために、徳川家は全国各地にいる大名たちを従える武家諸法度を制定し、参勤交代をさせました。

授業では、なぜ徳川家は参勤交代をさせたのかを考えました。子どもたちは、外様（関ヶ原の戦い以降に徳川に従った、江戸から遠い場所にいる大名）に注目し、「大名たちが勝手なことをしないように、妻子を江戸に住まわせて、脅しをかけられるようにしているのではないか。」「領地から江戸に行くということは、江戸から遠い領地の大名は大変だ。」といった意見が出るなど、活発に話し合っていました。様々な考えが出た結果、①大名たちの妻子を人質にとり、幕府に歯向かえないようにした。②領地と江戸の行き来に莫大な費用を使わせたため、戦いに必要なお金を貯めさせないようにした。③大名たちを江戸で生活させることで、幕府が監視できるようにした。といった参勤交代の目的に気が付くことができました。暗記科目と思われがちな歴史ですが、過去に学習したことを活用すると考えやすくなるということを、6年生は授業を通して学んでいます。

江戸時代は、戦国時代のような戦いのない平和な時代として約260年続きました。東海道や甲州街道など、現在も使われている街道ができたり、町の名前や区割りも、令和になった今でも使われていたりするものがたくさんあり、SDGsの11番「住み続けられるまちづくり」にも取り組んだ時代とも言えます。また、世の中が平和で政治が安定してきたからこそ、町人の文化が発展しSDGsの9番「産業と技術革新の基盤」につながっていきました。

このように、6年生の社会科の歴史の授業にもSDGsの視点を取り入れて学習を進めています。



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



11 住み続けられるまちづくりを



16 平和と公正をすべての人に

